

1-1 森林整備

森林環境譲与税を活用した森林整備と制度説明会の実施

旭川市

○旭川市では、森林所有者等が将来にわたって安定した森林整備に取り組めるよう策定した「旭川市森林整備の水準に関する目標」達成に向けて、森林環境譲与税を財源として、間伐や林業専用道等の維持管理費等を支援する制度を設け、森林整備を推進する方針。



間伐後の状況



説明会の様子

旭川市の取り組み：

間伐等の森林整備への支援（私有林等活性化推進事業）

事業内容

「旭川市森林整備の水準に関する目標」達成に向けて行う間伐や枝打ちなどを対象とした支援を実施。（事業費の68%以内）

事業費

2,238千円（全額譲与税）

実績

間伐9.74ha

スキーム



旭川市の取り組み：

森林経営管理制度説明会

事業内容

意向調査対象の森林所有者向けに「森林経営管理制度説明会」を開催。

事業費

3,080千円（全額譲与税）

実績

3地区 34名出席

スキーム



工夫・留意した点

- 事業実施は事前申請方式としているが、やむを得ない場合のみ交付決定前着工を認めるものとして早期着工可能としている。
- 森林経営計画への参画を促す取組として、森林経営計画制度の説明を地元森林組合が行った。

その他の

- 森林所有者への意向調査に加え、意向調査対象の森林所有者向けの『森林経営管理制度説明会』を開催し、森林経営管理制度や森林経営計画制度等について説明を実施。
- 今後、旭川市の森林整備に関する支援制度で、推進していく予定。

【問い合わせ先】 旭川市農政部農林整備課 / ☎0166-25-7459

1-2 森林整備・木材利用

森林整備の推進及び木材利用の取組

釧路市

○釧路市は約10万haの森林面積を有するほか約16万人の人口規模を擁することから、森林整備に取り組みつつ市民への普及啓発を行い地域材利用拡大に取り組む。



間伐の様子



作業道補修作業

釧路市の取り組み：

森林経営管理制度に基づく森林所有者への意向調査

事業内容

森林組合へ委託し、意向調査の実施。

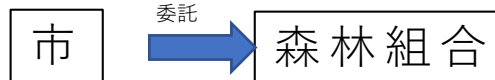
事業費

2,475千円(全額譲与税)

実績

調査対象：141件、289.68ha

スキーム



釧路市の取り組み：

私有林における間伐及び作業道の補修に対する支援

事業内容

私有林における間伐及び作業道の補修に対する支援。

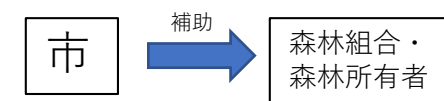
事業費

間伐 4,145千円(全額譲与税)
作業道補修 360千円(全額譲与税)

実績

間伐 2件(30.58ha)
作業道補修 1件(砂利敷延長600m)

スキーム



釧路市の取り組み：

商品企画研究会における地域材製品の試作開発

事業内容

地域材製品の試作開発を実施。

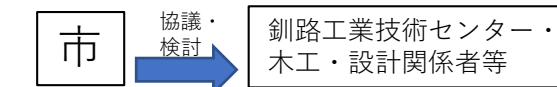
事業費

333千円(全額譲与税)

実績

試作品5種類

スキーム



工夫・留意した点

- 意向調査にあたっては、事前に実施方法や対象について委託先の森林組合と十分協議し確認の上実施。
- 補助実施にあたっては、森林所有者等のニーズをふまえた事業となるよう検討。
- 商品企画研究会については、木工に関する技術的知見を有する釧路工業技術センターと協議を行いながら進めた。

その他の

- 森林環境譲与税の用途については、「釧路森林資源活用円卓会議」における意見も踏まえながら検討を進めている。
- 令和3年度においては、私有林の整備及び木材利用をさらに促進するため、森林整備関係事業を中心に拡充する。

【問い合わせ先】 釧路市産業振興部農林課 / ☎0154-31-2552

1-3 森林整備

森林経営計画に基づく間伐等の森林施業への助成

北見市

○北見市では、森林の有する温室効果ガスの吸収や災害防止機能などの多面的機能の持続的な発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、川上から川下に至るまでの各種施策を一体的に実施する方針。



間伐後の様子



間伐後の様子



北見市の取り組み：

私有林における間伐及び作業道の補修に対する支援

事業内容

私有林における森林経営計画に基づく間伐等の森林施業に対する助成。

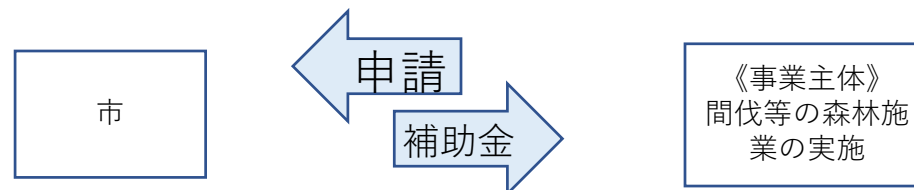
事業費

18,963千円（全額譲与税）

実績

除伐：1.19ha、保育間伐：133.76ha、間伐19.36ha、除雪：2,100m

スキーム



工夫・留意した点

- 既存の補助事業と本事業の2つの事業による安定的な事業量の確保やさらなる事業推進を図るため、既存事業との公平性やバランスを確保。基本的な制度設計も同様とした。
- 地域課題への対応策として、冬季間の事業実施を支援するため、冬季間の除雪費を定額加算を創設。
- 申請期日も事業の進捗に合わせて柔軟に対応することで、通年事業の実施による担い手確保にも資するものとした。

その他の

- 川上側の事業として、私有林における森林経営計画に基づく間伐等の森林施業に対する助成制度を令和元年度に創設。
- 既存の国庫補助事業などの補助事業との公平性やバランスを確保し、地域課題にも対応した制度設計とすることにより、安定的な事業量の確保やさらなる事業推進を図り、併せて冬季間の事業実施による林業の担い手確保にも繋げることを目的に実施。

【問い合わせ先】 北見市農林水産部農林整備課／☎0157-25-1143

1-4 森林整備

森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査の実施

北見市

○北見市では、森林の有する温室効果ガスの吸収や災害防止機能などの多面的機能の持続的な発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、川上から川下に至るまでの各種施策を一体的に実施する方針。



意向調査の資料

北見市の取り組み：

森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査の実施

事業内容

計画当初、意向調査の対象となる森林は5,606件（林小班数）、5,360haと膨大だったので、間伐が必要と考えられる森林の調査を優先するため更に条件の絞り込みを行い1,068件（林小班数）、1,260.63haまで縮減した。これを3カ年で意向調査を行う計画とする。

また、北見市は4つの自治区に分散しており、3つの自治区については既に地籍調査が終了していることから、地籍調査が完了している部分を優先し意向調査を行う。

絞り込みを行った対象森林について、3カ年で意向調査を行い、既に何らかの方法により森林の経営管理が行われている旨の回答があった森林以外について、森林所有者に森林経営計画の作成を促し、森林経営計画の認定率向上を図る。

事業費

2,987千円（全額譲与税）

実績

送付数126件中73件の回答があった。（令和2年度）

その中で自分が所有する森林の経営管理を他者に委ねる旨を明確に希望する回答は35件、森林面積としては70.81haであり、回答があった面積の約47%程の森林が他者に経営管理を希望していることがわかった。

スキーム



工夫・留意した点

- 優先すべき森林の条件、地区については、事業量が偏りすぎないように事業者と協議を行いながら決定した。
- 返信率の向上のため、森林経営管理制度についてのパンフレットを同封して調査の意図を理解してもらうとともに、市の封筒を使うことで不信感を払拭するよう努めた。
- 国、道、市で行っている森林整備に対する助成や森林経営計画について資料の中で説明することで森林所有者の理解を深めるとともに負担となっている森林整備についてのハードルを下げるよう努めた。

その他の

- 北見市の森林経営計画の認定率は約45%（市町村有林を含まない）であり、全道の認定率よりも低い状況である。
- 令和2年度においては、森林所有者へ307.00ha分の意向調査を行い、151.95ha分の所有者の意向を確認した。
- 令和3年度以降においても引き続き意向調査を行い、森林経営計画の作成を促進し、既存の施策や森林環境譲与税を活用した施策等により森林所有者に対して支援を行っていく。

【問い合わせ先】 北見市農林水産部農林整備課 / ☎0157-25-1143

1-5 森林整備

留萌市私有林等整備事業補助金

留萌市

○留萌市では、森林所有者の経営意欲の低下や森林所有者の不在村化、相続による世代交代などにより整備が行き届かない森林の増加が懸念されていることから、森林環境譲与税を財源とした間伐等を支援する制度を設けるとともに、森林経営管理制度に基づく取組を進め、森林整備を推進する方針。



間伐着手前



間伐着手後

留萌市の取り組み：

間伐等の森林整備への支援

事業内容

森林環境保全直接支援事業（国庫補助事業）の採択要件である面積において補助対象外となる森林などを整備するため、間伐等を対象とした支援（定率補助）を実施。

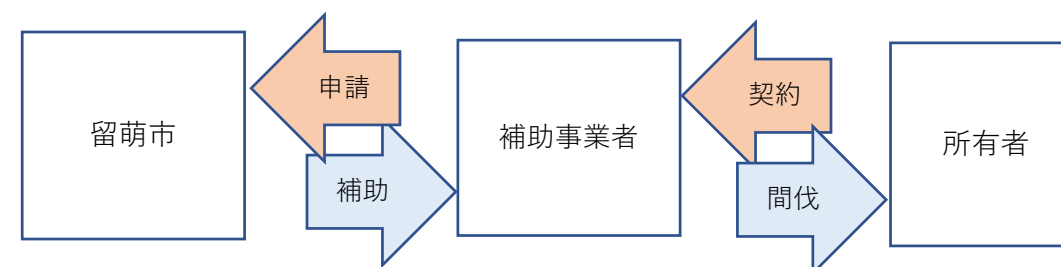
事業費

3,483千円（全額譲与税）

実績

間伐：10.16ha

スキーム



工夫・留意した点

- 面積要件を設けず、既存の補助事業では補助対象外となる1申請5ha未満の小規模な施行地面積も支援の対象とし、間伐等の実施に確実につながるようにした。
- 事業完了の期限を年度末までとすることで、国庫補助申請に間に合わない事業の支援を可能とし、事業者への補助金交付や森林所有者と事業者での精算が速やかに行われるようにした。

その他の

- 令和2年度においては、以下の取組により、新たに10.16haの間伐が実施され、森林の有する公益的機能の発揮につながった。
- 地域の特性として、通常の国庫補助事業の面積要件を満たさない小面積の森林や、積雪後でなければ事業の実施が難しい森林が多いことから、間伐等の事業においても面積要件を定めず、事業の完了期限を年度末までとした独自の補助制度を創設し、私有林での間伐事業を支援した。

【問い合わせ先】 留萌市農林水産課／☎0164-42-1837

植 栽 ・ 保 育 作 業 の 機 械 化 支 援

紋別市

- 紋別市では人工林資源が利用期を迎えるなか林業労働者の不足が課題となっている。
- 間伐作業については機械化が進み生産性もあがっているが、植栽、保育作業については人力主体であるため、労働者不足により作業が進まない場合もある。
- また植栽・保育作業の機械導入にあたってはこれまで補助事業の対象とならない場合が多く、更には作業を行っている業者は零細企業がほとんどであるため機械化への対応も進んでいない。
- こうした状況を改善していくため機械化を支援し森林整備の促進につなげる。



ドイツ製リモコン式草刈り



草刈り状況

紋別市の取り組み： 保育作業機械の導入

事業内容

高性能草刈機械を導入した森林組合では下刈等の保育作業に使用することとしている。

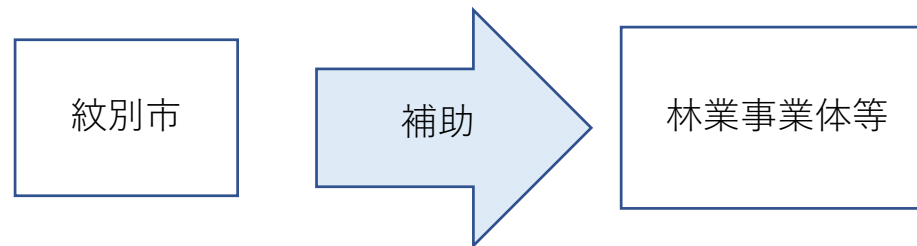
事業費

6,325千円（うち譲与税3,000千円）

実績

高性能草刈り機1台

スキーム



工夫・留意した点

- 今回導入した森林組合では機種を選定する際、現地検討会等に参加し実際に使用している方からも話を聞いて選定した。

その他の

- 機械を使用して下刈作業の効率化を進めるためには、苗木の植栽方法等を考慮する必要がある。（今後の課題）

【問い合わせ先】 紋別市産業部農政林務課／☎0158-24-2111

1-7 森林整備

富良野市私有林等整備事業

富良野市

○富良野市では、森林経営計画を作成し、所有者自らが森林整備を進めている森林が7割（東大演習林を除く）を占めており、計画的な森林整備が進められていることから、森林所有者等が将来にわたって安定した森林整備に取り組めるよう、森林環境譲与税を財源として、間伐などの森林整備を支援する制度を設け、森林整備を推進する方針。



間伐作業の様子



地上散布の様子

富良野市の取り組み：

間伐等の森林整備への支援

事業内容

森林環境保全直接支援事業（国庫補助事業）の採択対象外の小面積間伐や、林齢制限等の要件を緩和した支援を実施。

補助対象経費の68%（搬出なしの保育間伐は84%。除雪費は100%）

事業費

2,321千円（全額譲与税）

実績

間伐：4.33ha 野ねずみ駆除(地上散布)：94.04ha 除雪：8.84km

スキーム



工夫・留意した点

- 間伐については、既存の国庫補助事業では補助対象外となる1申請5ha未満の小規模な施行地面積や林齢の上限を超える施行地も支援対象とした。
- 搬出を伴わない保育間伐については、森林所有者の負担を軽減するため補助率を高く設定した。
- 冬季の間伐作業に必要な除雪費を補助することで、年間通して事業を進めることができ事業量の増加に繋がる取組とした。

その他の

- 令和2年度においては、森林環境譲与税を活用し、森林所有者が行う間伐・野ねずみ駆除・冬季の間伐作業に必要な除雪費などの事業に要する経費を補助する「富良野市私有林等整備事業」を創設し、支援を行った。
- 今後も、同事業を活用し、森林所有者の支援を行っていく予定。

【問い合わせ先】 富良野市経済部農林課／☎0167-39-2309

1-8 森林整備

厚沢部町森林整備事業補助金

厚沢部町

○厚沢部町では、森林環境譲与税を財源として、森林経営計画作成者の間伐等の森林整備を支援することで、持続的な森林資源の活用や森林の有する多面的機能の維持・増進を図っていく方針。



間伐前の状況



間伐後の状況

厚沢部町の取り組み：

森林所有者への意向調査の実施

事業内容

町内の私有林161ha(35人分、78筆)の森林所有者に対し、森林の経営管理の意向調査を実施。

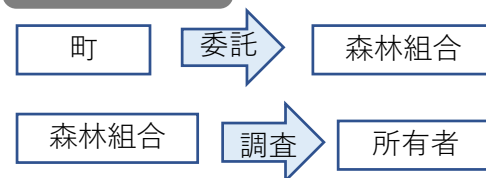
実績

意向調査面積
161ha (うち人工林81ha)

事業費

440千円 (全額譲与税)

スキーム



厚沢部町の取り組み：

間伐等の森林整備への支援

事業内容

森林経営計画が作成されている森林を対象に、間伐や森林作業道の開設等を対象とした支援を実施。

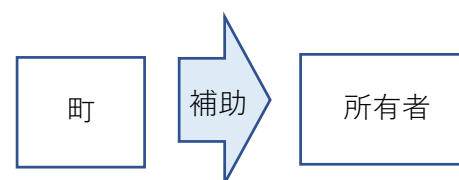
事業費

11,139千円 (全額譲与税)

実績

間伐130ha、下刈り163ha、枝打ち77ha、野そ駆除123ha、森林作業道開設2,500m

スキーム



工夫・留意した点

- 間伐等の森林整備の支援として、補助率を以下のとおり設定し事業を実施。
 - ・間伐…標準経費の20%
 - ・下刈り…標準経費の10%
 - ・枝打ち…標準経費の10%
 - ・野そ駆除…標準経費の32%
 - ・作業路開設…標準経費の10%

その他の点

- 令和2年度に創設した補助制度により、130haの間伐を含む各森林整備を支援した。
- 町内の私有林161ha (うち人工林は81ha、全私有林人工林面積の2%) の意向調査に取り組んだ。
- 今後5年程度をかけて、町内全域の意向調査を進めていくこととしている。

【問い合わせ先】 厚沢部町農林課 / ☎0139-64-3314

美幌町

○美幌町は、担い手不足により手入れ不足の山林が増えてきており今後も増加することが予想されることから、森林環境譲与税を活用し森林経営計画に基づく間伐等を支援するとともに、美幌町が推進するFSC®森林認証の面積の拡大を図り、森林の持つ多面的機能の高度発揮、森林整備の推進、雇用の維持・確保に繋げる方針。



間伐前の状況



間伐後の状況

美幌町の取り組み：

間伐等の森林整備への支援

事業内容

森林経営計画に基づく枝打ち、保育間伐、間伐、事業実施に伴う路網除雪を対象とした支援及びFSC®認証林への上乗補助。

枝打ち、保育間伐、間伐に対し北海道が定める造林事業標準単価による事業費の68%を補助。

FSC®森林認証取得森林で行う枝打ち、保育間伐、間伐に対し16%上乗せして84%を補助。

施業地までの林道等除雪に係る費用として一定額を補助。

事業費

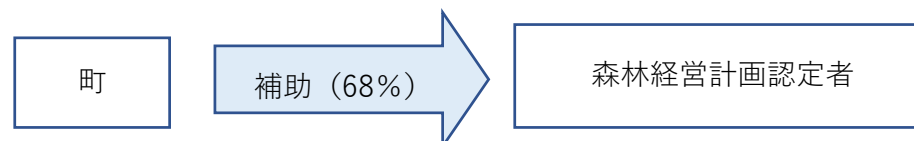
32,460千円（全額譲与税）

実績

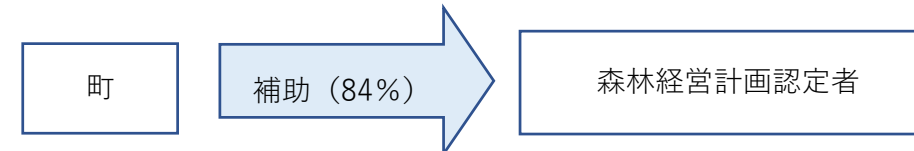
間伐：116.28ha、保育間伐：113.25ha、枝打ち：21.20ha、FSC®認証林上乗(間伐)：44.36ha

スキーム

非認証林



認証林



工夫・留意した点

○森林整備の推進、雇用継続・拡大、事業者の計画的設備投資に繋がるよう単年度譲与額相当を事業費とし、公共予算が少ない場合でも事業量を確保できるようにしている。

○環境配慮に重点を置いているFSC®森林認証の面積拡大を図り、多面的機能を高度に発揮させるため、FSC®認証林に対し上乗補助を設定した。

その他の

○令和2年度は美幌町森林環境整備事業を創設し、森林経営計画に基づく間伐等を支援し、雇用の継続に繋がるよう冬季間の路網除雪に対しても支援メニューを設定した。

○FSC®森林認証の面積拡大を目的に取得された山林に対して、上乗補助を設定。

○これにより、間伐116.28ha、保育間伐113.25ha、枝打ち21.2haが追加的に実施され、44.36haの間伐に対する上乗補助が実施され、多面的機能の発揮と雇用の維持に繋がった。

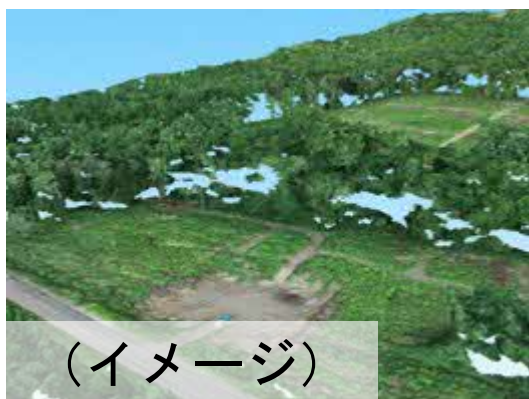
【問い合わせ先】 美幌町経済部農林政策課／☎0152-77-6547

1-10 森林整備

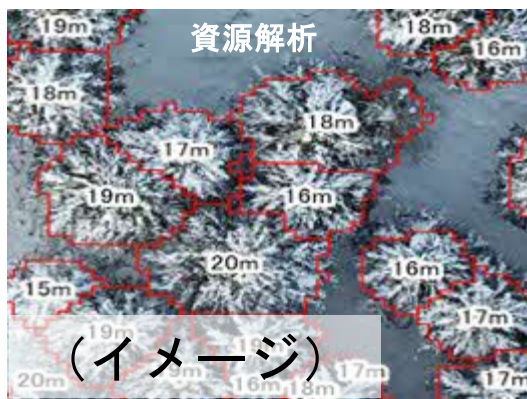
森林調査の高度化・省力化

滝上町

○滝上町では、森林組合の森林施業プランナーによる提案型・集約化施業により森林整備・地域資源の有効活用に向けて取り組んでいる(事業明細の透明性確保、木質バイオマス資源の地域循環型利用の推進)ところであるが、一方で森林所有者が森林を手入れする意欲が低下し続けることで森林が荒廃する懸念があるため、森林環境譲与税を活用し森林整備を加速化・促進させる方針。



(イメージ)



(イメージ)

地形・蓄積解析等の例

滝上町の取り組み：

森林資源調査に係る調査器具整備への支援 (森林整備加速化事業)

事業内容

当事者の調査事業に必要な器具(ドローン)について、購入支援。(補助率1/2)

実績

ドローン一式を森林組合が購入

事業費

120千円(全額譲与税)

スキーム



滝上町の取り組み：

森林資源調査(森林整備加速化事業)

事業内容

間伐や皆伐に向けた地形・蓄積解析等、また、皆伐跡地の植栽にかかる面積の確定、境界の確認、林地残材の集積状況の確認等を行い、森林所有者への提案資料、事業計画の作成に活用。

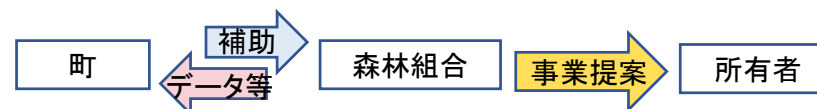
事業費

142千円(全額譲与税)

実績

計測面積95ha

スキーム



工夫・留意した点

- ドローンについては、本体のみの導入としている。
- 空中写真撮影後、オルソ画像を生成、QGIS等をフル活用して様々な処理・解析を行っている。
- 当町では、航空レーザ計測を一部の山林で行っており、リモートセンシング技術の基盤(データ、人材)があるため、ドローン単体のみの導入で活用に至る。

その他

- 令和3年度には、引き続き、計測調査に加え、意向調査の結果、森林管理経営に前向きな森林所有者(26名120ha)について、森林現況を調査し必要な森林施業を提案、実施していくための基礎調査として計測調査を行う予定。

【問い合わせ先】 滝上町林政課林政係 / ☎0158-29-2111

1-11 森林整備

森林の溪間等整備による災害予防対策

新ひだか町

○新ひだか町では、近年の異常気象による集中豪雨等で土砂災害発生の危険性が増加傾向にあることから、森林内・森林周辺の沢や水路等に堆積している土砂等の除去を森林環境譲与税を財源として実施することにより、森林からの土砂災害発生の防止を図る方針。



着工前



着工後



着工前



着工後

新ひだか町の取り組み：

沢等の修繕の実施

事業内容

地域住民等からの要望に対応するため、休止していた森林公園内にあるキャンプ場の荒廃した林地内の水路の土砂除去等の修繕を実施した。

事業費

999千円（全額譲与税）

実績

沢(水路)等修繕 3か所 約120m

スキーム



工夫・留意した点

○町有地やその周辺及び地域住民等からの要望箇所の中から、災害防止や治山事業等の補助事業の対象とならない荒廃した林地内水路の土砂除去等を迅速に対応することができた。

その他

○令和3年度以降においても、森林からの土砂流出等の災害予防対策を継続的に実施して行くこととしている。

【問い合わせ先】 新ひだか町産業建設部水産林務課／☎0146-33-2114

池田町民有林管理推進事業

池田町

- 池田町では、再造林面積に対する皆伐面積の増大と作業道の無秩序な開設が行われており、経済面・環境面に対する森林の機能を持続的に維持する事が困難になる事が懸念される。
- そこで、国庫補助事業の対象外となる本数伐採率の低い間伐と既設作業道補修に対して支援を行う事で、町内林産施設への原木の安定供給と森林の有する多面的機能の持続的な発揮の両立を図る方針。



間伐後のカラマツ人工林



作業道補修実施状況

池田町の取り組み：

本数伐採率の低い間伐への支援

事業内容

森林経営計画策定森林を対象に、計画策定者が実施する本数伐採率20%未満の間伐に対する支援（定額補助）を実施。

実績

間伐：66.51ha

事業費

7,982千円（全額譲与税）

スキーム

※既設作業道補修への支援と同様。

池田町の取り組み：

既設作業道補修への支援

事業内容

森林経営計画策定森林での事業(国庫補助事業も含む)実施のために通行する既設作業道の補修に対する支援(定額補助)を実施。

事業費

8,300千円（全額譲与税）

実績

既設作業道：8,300m

スキーム



工夫・留意した点

- 令和元年度の事業創設前の段階で計画策定者に対して事業説明会を実施し、森林環境譲与税を活用した当町における森林整備方針を共有。
- 申請業務の簡略化(提出書類の低減)による事業実施への障壁を除く工夫。
- 年間を通した申請書の受付を行っており、林業事業体の雇用確保につながっている。

その他の

- 令和元年度より「池田町民有林管理推進事業」を創設し、間伐52.55ha、作業道補修2,000mを行ったが、令和2年度においては間伐66.51ha、作業道補修8,300mの実施を支援した。
- 令和3年度以降も継続して間伐と既設作業道補修に対する支援を実施する予定。

【問い合わせ先】 池田町産業振興課林務係／☎015-572-3118

足寄町

○足寄町では、造林事業の効率化に資するため、林道や作業道の維持管理を推進する方針。



林道の維持管理（奥大誉地林道草刈）着手前・後



作業道の補修（谷の沢作業道補修）着手前・後

足寄町の取り組み：
林道の維持管理

事業内容

森林組合をはじめとする町内の民有林業者に発注。
主要林道11路線の草刈り等を実施し、事業量の増加を図った。

事業費

2,612千円（全額譲与税）

実績

11路線、延べ67km

スキーム

造林作業を行っている町内の民有林業者へ発注。

足寄町の取り組み：
作業道の補修

事業内容

町内の民有林業者等に発注。
作業道や林道の補修等を実施し、造林事業に係る移動の安全確保及び造林地間の移動時間短縮による効率化を図った。

事業費

10,973千円（全額譲与税）

実績

林道及び作業道の補修等 8カ所外

スキーム

町内の民有林業者等へ発注。

工夫・留意した点

○造林事業の合間にできるように、あらかじめ業者と打合せをして発注した。

その他の

○令和3年度においても、引き続き林道や作業道の維持管理を行うこととしている。

【問い合わせ先】 足寄町経済課林業振興室／☎0156-28-3862